

2 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	CMAC(カンボジア地雷処理センター)のERW(爆発性戦争残留物)処理担当教官の能力向上、ERWチームの能力強化及び新たな地中探査技術教育によりCMACのERW処理能力の強化を図り、社会基盤の強化発展に寄与する。
(2) 事業内容	<p>全般</p> <p>この半年間に以下のスケジュールに沿って前半4ヶ月間の教育準備、後半2ヶ月間のERWチームの教育を実施した。</p> <p>参考資料：年間計画表</p> <p>ア 教育準備</p> <p>(ア) 教育資料等の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課目表及び教育順次表の作成</li> <li>・教育資料の作成</li> <li>・教育計画の作成(レッスンプラン)</li> <li>・教官教育用資料の作成</li> </ul> <p>(イ) ワーキンググループ活動</p> <p>CMAC本部及びトレーニングセンターと教育検討会・協議実施を合計7回実施</p> <p>(ウ) 教導チーム(モデルチーム)の練成</p> <p>教育展示要領演練 教育 10回 計34時間</p> <p>別紙1:教導チーム展示要領演練</p> <p>イ 教育の実施</p> <p>チームリーダーについては、特にリーダーとして野外で実施すべき安全管理、計画管理等を主体とした教育を、チーム員については、安全化技術を主体とした教育を実施</p> <p>(ア) CMACが指定したERW2個チームに対する教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニングチーム第1期の教育課程を4月から6月までERW2個チームに実施(通算4回(期)の教育実施予定)</li> <li>・トレーニングチームの能力アセスメントをJMASとCMACの合同で2月17日から23日まで実施</li> </ul> <p>参考資料: Schedule for ERW Teams Training Assessment</p> <p>(イ)教官教育</p> <p>中間報告時点では未実施</p>

	<p>ウ 磁気探査</p> <p>TC内に設置してあるテストレーンにて日本でレンタルした磁気探査機材の有効性をCMACが使用している探知機の比較調査を実施した。</p>												
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>ア 教育準備</p> <p>(ア) 教育検討会・協議により細かなスケジュールの調整、教育内容等の調整を行い以下の成果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育資料 64冊作成(日本語、クメール語)</li> <li>・教育計画(レッスンプラン) 66ページ作成</li> <li>・教官教育準備ガイド以下17冊作成(日本語、クメール語)</li> </ul> <p>別紙2:教育課目表 (チームリーダー編) 教育課目表 (チーム員編)</p> <p>別紙3:教育順次表 (チームリーダー編) 教育順次表(チーム員編)</p> <p>(イ) 能力アセスメント結果により、計画の立案の基礎、リスクアセスメント、不発弾の処理に対する全般管理を重点的に教育することとした</p> <p>別紙4:能力アセスメント所見</p> <p>イ 教育の実施 (ERW能力向上)</p> <p>チームリーダーが結節において、チーム員に対して指示や安全教育を行うなど識能の向上がみられた。またチーム員についても不発弾の安全化要領についての習得や自ら進んで掌握下に入る等の態度の向上がみられた。</p> <p>(ア) 能力向上を評価する指標(最終テスト結果)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>84%(素養試験52%)</td> </tr> <tr> <td>チーム員</td> <td>81%(素養試験37%)</td> </tr> </table> <p>(イ) 能力向上を評価する指標(学科教育中の確認試験)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>平均76%</td> </tr> <tr> <td>チーム員</td> <td>平均64%</td> </tr> </table> <p>(ウ) 教育成果に関する指標(実習活動時のチェック)</p> <p>参考資料:モニタリング時のチェックリスト(教育実施後のチームの評価)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>チーム員</td> <td>75%</td> </tr> </table> <p>別紙5:教育指標に関するデータ</p> <p>別紙6:教育成果に関する指標(モニタリング時のチェックリスト)</p> <p>ウ 磁気探査</p> <p>磁気探査機材は、カンボジア独特の鉄分の多い地形においても有効</p>	チームリーダー	84%(素養試験52%)	チーム員	81%(素養試験37%)	チームリーダー	平均76%	チーム員	平均64%	チームリーダー	80%	チーム員	75%
チームリーダー	84%(素養試験52%)												
チーム員	81%(素養試験37%)												
チームリーダー	平均76%												
チーム員	平均64%												
チームリーダー	80%												
チーム員	75%												

	<p>なことがわかった。</p> <p>40cmの深さに埋設している小口径のクラスター子弾の探査においては磁器探知機と金属探知はほとんど同程度であることがわかった。水平及び鉛直探査の有効性を確認し探査能力は同等であることがわかった。</p> <p>別紙7:磁気探査調査の実績と成果</p> <p>エ 裨益人口</p> <p>直接裨益人員: ERW要員12名(教導チーム6名教育対象者6名)</p> <p>関節裨益人口: 63,488名</p> <p>(関節裨益人口は、危険回避教育及び不発弾処理を実施した地域の汚染人口とする)</p> <p>別紙8: Number of population at risk by MINE/UXOs in 5 provinces</p> <p>参考資料: 不発弾等処理実績 (月間報告5月を参照)</p> <table data-bbox="619 824 976 1048"> <tr> <td>不 発 弾</td> <td>1, 867発</td> </tr> <tr> <td>対 人 地 雷</td> <td>18発</td> </tr> <tr> <td>対 戦 車 地 雷</td> <td>1発</td> </tr> <tr> <td>爆 弾</td> <td>8発</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1, 894発</td> </tr> </table>	不 発 弾	1, 867発	対 人 地 雷	18発	対 戦 車 地 雷	1発	爆 弾	8発	合 計	1, 894発
不 発 弾	1, 867発										
対 人 地 雷	18発										
対 戦 車 地 雷	1発										
爆 弾	8発										
合 計	1, 894発										
(4) 今後の見通し	<p>ア 10月以降教官教育の実施</p> <p>イ 6月以降残り6個チームの教育</p> <p>ウ 8月頃教育の評価と次年度への適合について検討</p>										